

第5次行田市総合振興計画 まちづくり指標取組状況報告書

No.	83	指標名	普通救命講習修了者数	単位	人	5総振ページ	147
策定時	4,503						
H23年度末	5,249						
H24年度末	5,665						
H25年度末	6,222						
H26年度末	6,810						
H27年度末	7,262						
5年後目標値 (H27年度末)	6,700						
10年後目標値 (H32年度末)	8,700						
中間評価結果		5年後目標値を達成		10年後目標値・変更後 (※ H26又はH27年末で10年後 目標値を達成している場合のみ)			
前期(平成23年度～平成27年度)取組状況							
実施年度	実施内容						
～H24	・平成23年度 普通救命講習開催回数 23回 受講人数 332人 ・平成24年度 普通救命講習開催回数 26回 受講人数 416人						
H25	・平成25年度 普通救命講習開催回数 35回 受講人数 557人 ・応急手当普及員講習(※備考欄参照)を開始 応急手当普及員認定数 34人						
H26	・平成26年度 普通救命講習開催回数 38回 受講人数 588人 ・応急手当普及員講習(※備考欄参照)を実施 応急手当普及員認定数 29人						
H27	・平成27年度 普通救命講習開催回数 33回 受講人数 452人 ・応急手当普及員講習(※備考欄参照)を実施 応急手当普及員認定数 26人						
H27	市内全中学校2年生に対し救命入門コース(※備考欄参照)を含む心肺蘇生法教育を実施。救命入門コース 開催回数 7回 参加人数 611名						
後期(平成28年度以降)の予定							
市内全中学校2年生を対象に救命入門コース(胸骨圧迫及びAEDの取扱いを主とした90分の実技講習)を実施し、参加した生徒に募集をかけ、ステップアップ普通救命講習(120分)を実施する。							
備 考							
・ 応急手当普及員とは、事業所や組織において普通救命講習等の指導をすることができる資格である。現在、各小中学校に所属する応急手当普及員と消防の救急救命士が連携し、教諭及び生徒に対し心肺蘇生法教育を実施している。 ・ 救命入門コースとは、胸骨圧迫及びAEDの取扱いを主とした90分の実技講習である。救命入門コースに参加した者は、通常180分の普通救命講習が短縮され、120分のステップアップ講習を受講することで、普通救命講習修了証が交付される。							